





十浦道中絵図(部分)(十浦市指定文化財・十浦市立博物館蔵

企画展 † 専物館で"ツーリズ"ム!!

- 江戸時代の旅日記をたどる-

旅が大衆化した江戸時代、現在の茨城県域からも多くの人々が日本 各地に旅立ち、また当地にも多くの旅人が訪れました。その目的は、 寺社参詣、名所旧跡めぐり、巡礼、湯治など自発的なものだけではなく、 藩の御用、随行、従軍など非自発的なものまで様々でした。

本展示では、旅を「住む土地を離れて一時他の場所に行くこと」と 幅広くとらえ、茨城ゆかりの旅日記を中心に、旅行案内書や地誌、絵図 や絵画などの関連資料とともに紹介していきます。

偕楽園の「僊湖暮雪碑」を撮影してきた方は、画像を提示すると 入館無料になります。詳細は後日ホームページ等でお知らせします。 ご確認の上撮影しご来館ください。

企画展 関連イベント 展示解説 | 「申込不要・要入館券] 日時:12月13日王、12月26日金、1月12日月級、1月21日丞 各日①10:00~10:30、②13:00~13:30



同時期開催

昔のくらし モノ×語り―民具はがらくたか?―

たった一つしかないわけでも、珍しいわけでもない。そして、「なんか地味」な……民具。 資料自体のモノ情報 × 使う人の語りから得られるコト情報の両方から、民具が何を 語ってくれるのか、そして歴史館は「民具の一生」に何ができるのか考えてみます。

一橋徳川家資料にみる文様 12月21日旧まで

日本の人々は、四季折々の風情を愛で、水の流れや雲の動きといった自然、あるいは花 や鳥といった動植物を抽象化し、文様として表現してきました。立涌文、菱文のような有 職文様、雷文や亀甲文のような幾何学紋様、梅や竹、あるいは片輪車などの花鳥や器 物に由来した文様。そうした多種多様な文様を、一橋徳川家の資料からご紹介します。

同時期開催講座・イベント

日曜歴史館 14:00~15:30[事前申込制]

一橋徳川家2世当主・徳川治済とその時代

12月14日 回/担当: 武子裕美(当館主任学芸員)

元治元年の徳川慶喜

1月11日回/担当:由波俊幸(当館学芸課長)



160年記念ピアノコンサート[申込締切:11月14日金]

12月13日土 ※詳細はHP等でお知らせします

歴史館探検ツアー「申込締切:12月19日金]

1月18日回 13:30~15:00/定員30名、対象小学3~6年生

事前申込 方法

ホームページ申込フォーム

往復はがき(イベント名、住所、氏名、電話番号)

※日曜歴史館は来館での申込も可能 ※各詳細は当館ホームページをご確認ください



または



間宮林蔵「東韃紀行」(当館蔵)





鹿島明神図(当館蔵)







関沢政革[西国巡礼旅日記](当館蔵



交通の

◎茨城交通バス(水戸駅北口4番のりば)「桜川西団地」行きなど 偕楽園方面行き乗車約10分、「歴史館偕楽園入口」下車、徒歩2分。 ◎常磐自動車道水戸インターから約7km、車で15分。